

ほうふ Hofu

発行 / 防府市議会

編集 / 議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

# 市議会だより No.7

平成19年11月15日



「松崎天神縁起」より

## 9月定例議会

議案の概要	P2～P3	視察報告	P3
一般質問	P4～P9	特別委員会の報告	P10
水道事業決算特別委員会の報告	P10	政務調査費	P9
常任委員会の報告	P11	議会日誌	P12
		12月定例議会の予定	P12

# 平成19年 9月 定例議会

## 条例

市長期継続契約を締結することができ  
る契約を定める条例の一部改正  
市税その他の公金の収納業務に関する  
契約を、新たに長期継続契約を締結する  
ことが出来る契約として追加しました。  
これにより市税等のコンビニエンススト  
アでの払込みが可能となります。山口県  
内では初めてで、来年1月から段階的に  
実施されます。

市港湾施設野積場設置及び管理条例の  
一部改正

中関二ノ  
榊沖の野積  
場が、本年  
10月からコ  
ンテナ等の  
ストックヤ  
ードとして  
使用できる  
ようになり  
ます。これ  
に伴い、使  
用料等を改定するものです。



市手数料条例の一部改正

建築基準法の改正により、一定以上の  
建築物について県知事の構造計算適合性  
判定が義務付けられました。そのため、  
判定費用の確認申請手数料への加算と建  
築物等の確認・検査等の手数料等を定め  
るものです。

## 人事・一般議案

人権擁護委員候補者の推薦  
永田 惇さん(岩畠一丁目)が任期満了  
となりますが、引き続き推薦されま  
した。

市教育委員会委員の選任  
香川 敬さん(お茶屋町)が任期満了と  
なりますが、引き続き選任されました。

財産の取得

高規格救急自動車及び高度救命処置用  
資機材を藤村ポンプ(株)(宇部市)から  
3,132万1,500円で購入します。  
2社の指名競争入札により同社と契約  
し、来年2月に納車されます。

工事請負契約の締結

西田中団地の建替工事請負契約を山陽  
建設工業(株)と1億9,674万円で締  
結するものです。高齢者や障害者にも配  
慮した集合  
住宅で5階  
建25戸で  
す。これに  
伴い老朽化  
した本町団  
地2棟、桑  
山団地1棟  
を廃止し、  
住み替えを  
行います。



本町団地

市土地開発公社定款の変更  
財務諸表として、キャッシュ・フロー  
計算書作成が義務づけられるようになり  
ます。

## 予算

平成19年度一般会計補正予算  
平成19年度特別会計補正予算

平成19年度一般会計予算総額に、歳入  
歳出それぞれ4,550万6千円を追加  
しました。道路交通安全施設整備等を内  
容とし、原案どおり可決されました。こ  
れにより歳入歳出の予算総額は、367  
億6,910万7千円となりました。

また、競輪・国民健康保険・公共下水  
道・駐車場・交通災害共済・老人保健・介  
護保険事業の7特別会計について、いず  
れも原案どおり可決されました。

補正予算のより詳しい内容等について  
は、11ページをご覧ください。

## 決算

平成18年度水道事業決算

地方公営企業法の規定により監査委員  
の意見を付して議会が認定するものです。  
水道事業会計と工業用水道事業会計に  
ついて、事業概要、経営状況を決算書と  
付属書類により審査しました。

料金に消費税を転嫁したものであり反  
対との意見もありましたが、原案どおり

認定されました。  
決算審査のより詳しい内容等については、10ページをご覧ください。

### 平成18年度一般会計決算 平成18年度特別会計決算

地方自治法の規定により、監査委員の意見を付して議会が認定するものです。  
一般会計と11特別会計の平成18年度決算認定は、一般・特別会計決算特別委員会に付託されました。10月に委員会で審査され、12月議会で審議されます。

## 報告

### 防府地域振興(株)の経営状況報告

平成18年度の決算で、事業報告書、損益計算書等が提出されました。  
事業内容はルルサス防府の商業基盤施設を取得し、公共施設部分(地域協働支援センターと図書館の一部)について防府市へ賃貸し、また、駐車場の営業を開始しました。

## 行政報告

### 中心市街地の公有地売却の契約締結

中心市街地の3か所4物件の公有地売却の入札が8月28日行われ、2物件は次のおり業者が落札し、9月14日に土地売却契約を締結しました。また、応募のなかった旧国鉄官舎跡地(八王子一丁目、2,994㎡及び1,220㎡の2物件)

は今後さらに検討します。

・防府駅みなとぐち広場用地(駅南町、4,263㎡)は8億3,140万円で(株)原弘産(下関市)と売却契約。1階部分を店舗とする分譲マンションとホテルを計画。  
・市街地再開発事業用地西区(八王子一丁目ほか、3,821㎡)は3億8,210万円で(株)穴吹工務店(高松市)とアールシーエフ(有)(大阪市)の2社と売却契約。分譲マンションおよびホテルを計画。

## 決議

### 市民生活を支える道路整備財源確保を 求める要望決議

平成20年度予算編成にあたり、地方の課題に的確に対応した整備を進めるため、次の事項について特段の配慮がなされるよう、政府と国会に要望する決議を可決しました。

「活力ある地域づくりや都市再生を推進し、安心・安全な生活の確保や経済活動の発展を支えるため、地方部の遅れた地方幹線道路の整備や日常生活に密着した地方道路等の整備が着実に推進できるよう、中期計画に位置づけるとともに、整備のために必要な財源の確保を図ること。」



## 視察報告 経済委員会

地域資源を活かした体験型観光(京都府南丹市) 都市、農村交流の拠点づくりの推進(愛知県大府市) フードバレー構想(静岡県富士宮市)

7月30日から8月1日に表題の取組みについて行政視察を行いました。



茅葺き屋根の集落

南丹市(人口3万6千人)は山間部の4町合併で誕生した市です。日本の田舎らしさを目標に地域資源を活かした体験型観光に取り組んでいます。住民の高い理解と意識で、茅葺き屋根の集落保存を行い、地域の農林業を活かしたさまざまなイベントや付加価値の高い産物をつくりだし、自活できる自治体を目指しています。

富士宮市(人口12万3千人)ではフードバレー(食の基地、集積)構想として富士山からの豊かな湧き水と広大な大地などの自然環境を活かし、「食は大地から」をコンセプトに「食」農業「環境」健康のサイクルでブランドの開発や活用を行い、市のあらゆる行事に結び付け、市民の健康づくりにも役立てています。

大府市(人口7万8千人)は大都市名古屋に接し、都市と農村の交流拠点として、JA愛知が40億円全額出資し、2000年に農産品直売所を主とした「げんきの郷」をオープンさせています。都市周辺で農業の抱える諸課題解決や、「農と食、環境と福祉、そして文



げんきの郷

# Q&A 一般質問



9月定例議会では、16名の議員が市政をただしました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月初旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー・防府図書館でご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、議会だよりの原稿は、議員本人が作成したものを掲載しております。

## 行政評価の公表を竹の異常繁殖に対する対策を

原田 洋介(息吹)

**問** 限られた資源・財源の中で、事業が市民ニーズに適合しているか、効果があるのかなどの観点から事業をチェックする行政評価の取り組みをすすめるべきである。また、事業を実施する前に妥当性などをチェックする事前評価の考え方はどうか。評価結果の公表は、市長 平成17年度より、PDCAサイクルの仕組み(Plan(計画) Do(実施) Check(評価) Action(改善))を行政活動に組み入れ、業務の質を高めていこうと努力している。また、昨年度から事務事業評価の考え方を導入しており、新規事業は、事前評価の考え方を取り入れている。行政評価の公表は、必要であると認識しており、これから公表の方法などを研究していきたい。

**要望** 行政評価の目的として、行政の透明性の向

上と説明責任があげられている。評価結果公表は、できるだけ早急に取り組んでいただきたい。

**問** 市内の山々を見てみると、竹が異常に繁殖してきている。この現況をどう考えているか。どのような対策を講じていくのか。

**産業振興部長** 竹の異常繁殖は喫緊の課題であると認識している。現在、県が実施している「竹繁殖防止緊急対策事業」で竹を伐採し、また竹林所有者への意識啓発なども行っている。今後も竹林ボランティアと連携し、対策をすすめていく。



山を覆かす竹の異常繁殖

## 「市街化調整区域における開発許可」について

安藤 二郎(みどりの会)

**問** 平成14年、開発基準の大幅な改定により調整区域がほとんど住宅地域へと生まれ変わっており、二つの大きな問題を抱えております。一つは、排水問題、もう一つは、基本的なまちづくり問題です。

排水の問題は、開発基準のなかで、1ha以上の開発については30年に一度の降雨に耐えうる排水計画をしなければならず、計画が施行されるまでは、「調整池」を設けること、としている。現在新田の調整区域では、既に14haもの開発が進められており、当然排水路の整備、調整池の設置がされなくてはならないが、どうなっているのか。

**土木都市建設部長** 調整区域については、全体的な排水計画は作成しておりますが、この先状況が大幅に変化して浸水被害等の被害が生じた場合に

は実態を調査し、排水路の改修整備などの対応を考えております。

**問** 住みやすくなった調整区域の宅地に若者たちが移住している一方で、住みづらくなつた古くからあるまちなみには、高齢者しか残らないという現状をどう考えるか。

**市長** 土地区画整理事業の難しさ、しかし一方で議員さんの考え方も理解でき、今後は両面をよく考えながら施策を断行していかなければと考えております。



## 建築物が環境に与える 負荷を軽減しよう

伊藤 央（息吹）

**問** 本市では、新体育館やゴミ焼却施設の更新など大型の公共施設の建設を控えている。原材料や工事の過程、使用を開始してからのもも含め、行政が率先して環境への配慮を示していく責任がある。省エネ、省資源、リサイクル性能といった環境負荷軽減の側面に加え、室内での快適性や景観への配慮など環境品質・性能の向上を含めた建築物の環境性能を総合的に評価し、格付けする「CASBEE」建築物総合環境性能評価システムを導入してはどうか。

**市** 本市では、新体育館やゴミ焼却施設の更新など大型の公共施設の建設を控えている。原材料や工事の過程、使用を開始してからのもも含め、行政が率先して環境への配慮を示していく責任がある。省エネ、省資源、リサイクル性能といった環境負荷軽減の側面に加え、室内での快適性や景観への配慮など環境品質・性能の向上を含めた建築物の環境性能を総合的に評価し、格付けする「CASBEE」建築物総合環境性能評価システムを導入してはどうか。

**問** 市内中心部ではマンション、周辺部では個人住宅の建築が進んでいるが、民間の建築物にもCASBEEによる評価を行い、一定の格付けを得たものに対し、助成する制度を導入しては。

**市** 国土交通省主導のもと、産・学・官の連携により開発が進められる。省エネ・リサイクル性能、室内の快適性や景観への配慮などの建築物の環境性能を総合的に評価するシステム。評価により5段階の格付けが与えられる。

## 新体育館の付属機能について

藤本 和久（みどりの会）

**問** 平成23年開催予定の山口国体に間に合わすべく、新体育館の建設準備がすすんでいるが、環境への配慮が足りない。その一例が、太陽光発電設備の見送りだ。どのように考えているのか。

**市** 太陽光発電は、地球温暖化防止の観点から、有効なシステムと考えているが、費用対効果などの課題もあり設置しない。しかし、省エネルギー、省資源を念頭に設備、機材等を選定する。要望 費用対効果の問題ではなく、かけがえのない地球を守るための施策。地球温暖化対策は、ポトムアップ施策ではなくトップダウン施策。地球を守るために、市長の英断を期待する。



（仮称）防府市新体育館イメージ図

**問** 新体育館には、緊急避難場所としての機能を持たず計画はない。今後、建設する公共施設は、防府市の防災のあるべき姿

**市** 現体育館は、災害救援物資の集積地及び輸送拠点として位置づけ、新体育館も同様に考えている。緊急避難場所として、隣接する武道館を指定しているが、それに加え、新体育館も指定する方向で検討したい。

## 放課後子どもプランの実施 及び防災（地震）対策について

弘中 正俊（政友会）

**問** 放課後子どもプランが設立されたがその取り組みは。

**問** 大地震を想定した、救助や避難訓練等を実施されては、また市庁舎は建設後50年以上になるが、災害対策の拠点として機能するのか。

## 生活保護の申請抑制にならぬよう

木村 一彦 (日本共産党)

**問** 最近他市で生活保護の受給抑制を強力にすすめた結果、餓死者が出るなどの問題が起こっています。本市では保護申請を窓口で規制するようなことはありますか。

**健康福祉部長** 平成18年度の相談件数は211件でそのうち申請を受理したものが81件、申請率38%となっています。これは多少の蓄えはあるが将来が不安など相談だけに終わるものが多い等のためです。窓口規制は

していません。

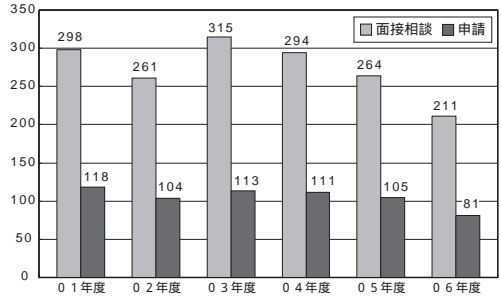
**問** 一部の市では「辞退届」の強要がなされているが、防府市の実態はどうですか。

**健康福祉部長** 平成18年度の辞退件数は50件で、内容は稼動収入の増加が22件、年金収入の増加が17件、その他身内による引取り扶養などが主なものです。強要はしていません。

**問** 申請希望者が威圧的な感じを受けることがままあります。応対を含めた職員の指導は?

**健康福祉部長** もしそのような感じを受けられたとすれば問題ですので、あらためて指導を徹底したいと思います。  
**要望** 窓口申請書を常時置いておくようにしてください。

**その他の質問項目**  
後期高齢者医療保険について  
市内バス交通について



## 企業(事業所)の誘致対策の促進について

重川 恭年 (新人クラブ)

**問** 現在市の税収入が好調であるが、これは企業群の法人市民税が寄与している。企業、事業所等の誘致対策を更に促進すべきではないか。

**市長** 地域間の競争を勝ち抜き、活力あるまちづくりの為に、企業誘致の推進は大変重要と認識し、諸施策を実施しているが、完売し適地がない。

**問** 具体的事例としてどのようにしているか。

**産業振興部長** 製造業を中心に企業訪問や企業協議会に出席し、ニーズの把握や情報収集に努め、誘致、増設などの働きかけを行っている。

**問** 過去5年間の実績はどうなっているか。

**産業振興部長** 新設4件増設9件、雇用創出327人となっている。  
**問** 適地が無いとのことだが、須崎沖用地などの活用はできないか。  
**総務部長** 用途変更等の



活況を呈する企業群

**問** 問題もあり検討したい。

**問** 先の議会で質問した知的財産や産学官のことも、また広い用地を必要としない方策もある。

**産業振興部長** 充分ふまえ積極的に推進したい。  
**要望** 市の自主財源確保や雇用創出などの為に、企業誘致は不可欠であり、ぜひ積極的な取り組みを期待する。併せて現在の事業所等設置奨励条例や中小企業振興条例を使い易いように考慮を要望する。

## 聴覚障害者への支援策充実を!

三原 昭治 (新人クラブ)

**問** 聴覚障害者の日常生活や社会参加、自立支援策について直接、要望や意見などを聞く機会を。

**市長** 地区懇談会など参加して頂けるよう、受け入れ体制などに配慮し、積極的に対応したい。

**問** 中途失聴・難聴者には、意思の疎通を図る手段として、筆記通訳をしてくれる要約筆記奉仕員が不可欠だが、不足している現状で、確保のため養成講座の開設を。

**市長** 現場サイドと十分協議して進めていきたい。

**問** 市の奉仕員派遣事業予算は20万円で十分な対応ができていないのが実情。山口市は8倍強の約170万円で、予算の増額をすべきだ。

**健康福祉部長** 平成17年度からの実績をみて、しっかり検討

したい。

**問** からくり時計の建設費と、年間の維持管理費は。

**土木都市建設部長** 建設費は1億4,763万円で、年間137万円の維持費がかかっている。

**問** 多額な建設費と維持管理費をかけているが、市民が望みもせず、市民からも悪評なからくり時計を、市長はどう考えているのか。存続について検討すべきでは。

**市長** 一市民として率直に言って無用の長物と思っている。今後、大掛かりな修繕の場合は、決断しなくてはならない。



1億5,000万円のからくり時計

### 文化行政について

山田 如仙（政友会）

**問** 旧図書館改修の完成はいつか。展示方法と館の通称は。

**教育次長** 文化財の収蔵の9割を搬入。館内外の改修工事を行い、来春開館します。館の通称は市広報で公募します。



**問** 英雲荘の改善整備と周辺の整備について。

**教育次長** 三田尻御茶屋保存修理事業は66%の進捗よく率で、毎年5千万円の事業費で平成22年度に完了。今後庭園や駐車場、周辺整備も含め検討していきます。

**問** 伝統文化芸術の教育推進について。

**教育次長** 伝統文化芸術

の体験活動については、各学校の実情に感じ特色ある教育活動、我が国の伝統芸術の教育推進に努めてまいります。

**問** 文化財を活かした観光推進、まちの駅について。

**産業振興部長** まちの駅については、天満宮から周防国分寺、毛利氏庭園に至るエリア内に計画。官民相互のネットワークを視野に入れたものを考えています。

**問** 三田尻、宮市消防団器庫の移転について。

**市長** 三田尻、宮市両分団器庫建設は、防災の拠点として重要なことであり、条件の整ったところから行います。

**問** ラジオ体操の現状、組織作りについて。

**教育長** 体育学習や運動会等の体育行事でラジオ体操を実施しています。組織作りは各団体、各学校の様々な手法で活用したいと思っております。

### 急がれる小中学校施設の耐震化 子ども医療費助成の拡充を

山本 久江（日本共産党）

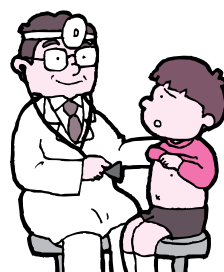
**問** 子どもたちが、一日の大半を過ごす場であり、災害時には地域住民の避難場所となる学校施設。その耐震化率は防府市の場合、39%と、大変遅れている。安全安心な学校づくりが重要課題となっている今日、耐震化を急ぐべきではないか。

**教育次長** 第一次耐震診断の結果、15小学校、6中学校の校舎等の一部又は全部について、耐震化工事の検討が必要となった。9月末までには学校施設耐震化推進計画を公表したい。計画期間は15年間から20年間で、3年から5年ごとに見直しを行う。

**問** 長すぎる計画期間だが、国に財政措置の強化を求めてほしい。

**教育次長** 学校施設の耐震性の確保は急務なので、国の更なる財政支援を県を通じてお願いしたい。

**問** 市の「次世代育成行



動計画」のためのニーズ調査でも、子育て家庭の経済的支援への期待は大きく、子ども医療費助成の拡充が求められている。県制度に上乘せし、充実する考えはないか。

**市長** 県へ制度の拡充を要望していくとともに、市独自の助成について前向きに検討していきたい。

**問** 高校卒業まで医療費を無料としている自治体もあり、地域格差が大きい。国に制度創設を求めたい。

**健康福祉部長** 県との協議や他市の状況を踏まえ、対応したい。

**その他の質問項目**  
母子家庭医療費助成制度の対象に父子家庭も

### 環状1号線の整備について

山根 祐二（公明党）

**問** 現在建設中の都市計画道路、環状1号線（新築地町 牟礼南小）の進捗よく状況はどうか。

**土木都市建設部長**（以下部長） 平成2年度から平成22年度までで、平成18年度末現在、進捗率は84%です。

**問** 牟礼南小まで完成した場合、車両の増加、通路への影響はどうか。

**部長** 歩行者のため路肩整備や、カラー舗装等を考えています。また大型車両を旧国道2号へ誘導する措置も必要です。再度の検討を行います。

**問** 牟礼南小から国道2号へのルートはどうか。

**部長** 環状1号線は牟礼南小から東へ向かい、国道2号につながる路線ですが、別に北に向かう今宿木部線があります。この路線は市内の交通や物流を改善する上でまた、牟礼地区の交通渋滞の緩和に大きな役割を果たす

ので県に要望を続けながら北に向かうルートの整備に取り組みます。

**道路補修について**  
**問** 市道で頻繁に陥没を起す箇所は、その都度補修するだけでなく、根本的な調査をし、原因究明をするべきでないか。

**部長** 道路の陥没は道路擁壁が老朽化し大雨等が原因で吸出し、土が流れ出るにより陥没します。ご指摘の同一箇所の陥没については原因を究明し、抜本的な対策を講じます。

**その他の質問項目**  
住宅セーフティネット法について



## 「AED」設置に関する周知と意識啓発について

山下 和明（公明党）

**問** 救命率向上のため、市内公共施設にAEDが

「81箇所」配置されているが、市民の命を守るために、119番通報を発信した位置が即座に分かる、発信地表示システムに、民間施設も含むAEDの設置所在地を入力したシステムの導入を図ってはどうか。

**消防長** AED設置箇所は既に発信地表示システムに入力し、AEDの使用が必要と判断される場合は、設置場所の情報提供と有効な応急処置が行えるよう口頭指導を行っている。

**問** 「AED設置施設の一覧」とAEDの使用方法をチラシの配布で周知できないか、合わせてAEDを設置している施設にAEDを周知するため



「AED設置施設の一覧」とAEDの使用方法をチラシの配布で周知できないか、合わせてAEDを設置している施設にAEDを周知するため



の看板を設置してはどうか。

**消防長** 市広報、ホームページに掲載したい。AEDを設置した施設の玄関等にシールを貼り、分かりやすくしているが、更に周知するために表示を大きくしたい。

**問** AEDを設置した施設関係者の普通救命講習受講状況はどうか。

**消防長** 小・中学校の教職員等の普通救命講習受講者は、本年に入り8月までの間に、全教職員770名中378名が受講している。特に市関係施設にAEDを設置した7月以降、受講者が急増している。

**その他の質問項目**  
 広告掲載事業の取り組みについて

## 旧防府商工会議所問題について

藤野 文彦（真政会）

**問** 市有地に昭和35年建設の旧商工会館との契約期間は30年間となっているが、新しい会館は移転し用途が廃止されている。なぜ平成2年に更新されたのか。

**市長** 昭和35年に旧商工会議所が建設されるに当たり、市と商工会議所との間で市有地賃貸借契約が締結。契約期間は30年間で、期間満了の際は双方いづれかより解約の申し出が無い限り、従前と同条件で自動更新が規定。平成2年期間満了だが、移転したばかりで、まだ利用していたため。

**問** 旧商工会議所の貸付料・算式はどうか。

**財務部長** 課税評価額の普通財産で1,000分の40。1000分の40の公的減額をした188万9,152円。

**問** 新しい商工会議所の建設時に、市は多額の補助金（建設費の25%）を

助成している。市は二重の補助ではないか。



**市長** 市の機関「都市整備部 商工観光課」が入所していたし、区画整理事業、再開発組合の総会・理事会等の会議がされていた。公的減額の見直し協議に入る丁度良いタイミングと感じている。商工会議所と早速、協議に入りたい。

**問** 旧商工会議所跡地の利用計画はどのように考えているのか。

**市長** 老朽化が進んでおり、安全安心の観点から、解体して用地の返還について商工会議所と協議していきたいが、現状では商業者の方も入居もあり、慎重に対応したい。

## 交通安全施設の整備管理を「防府の水」のPRを

高砂 朋子（公明党）

**問** 路面標示は、交通の規制・警戒・案内・指示の情報を伝えると共に、安全のために有効な手段。道路の白線等の標示が薄くなったり消えたままの箇所が多くありますが、どのような体制で整備されているのでしょうか。

**市長** 地域の要請に伴う調査や道路パトロールを実施しながら、年次的に整備しています。

**問** 団塊の世代の方による道路パトロール員を配置されています。

**市長** 道路の異状は、市民の皆様からのご指摘をいただき、市職員の情報、道路パトロールを充実して対応してまいります。

**問** 整備は不十分なので、この実態を把握し、一斉に路面標示の整備をしては、

**土木都市建設部長** 年次的に整備していきたい。

**問** 佐波川の地下水で作られたボトルウォーター

「淡如水」の製造の目的、今後のPRを含め、取り扱いの方向性をお聞かせください。

**水道事業管理者** 昨年、市政施行70周年、水道給水開始55周年の一環として製造。災害時緊急用飲料水、防府の水のPRが目的です。今後、各種イベント等で提供に努め、販売ルート拡大のため、飲料メーカーとも協議していきたい。



**学校に冷水機設置を**

**問** 毎年猛暑の予想の中、各小中学校に、市として冷水機を設置しては

**市長** 必要性を研究していきたい。



## 新体育館建設に伴う防府スポーツセンター北側運動広場について

平田 豊民（政友会）

**問** 北側運動広場は、いつから使用不能となるか。

**市長** 新体育館の着工時期は、平成20年6月頃を予定しておりますので、平成20年5月頃までご利用いただけます。

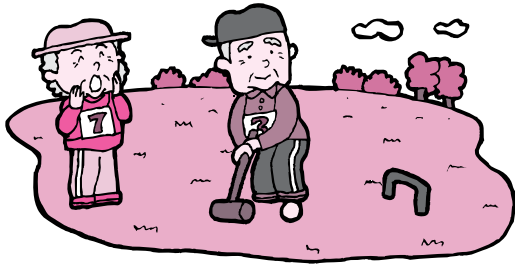
**問** 新たな運動広場の構想はどのようなものか。

**市長** 現在の北側運動広場のソフトボール場が4面とれるよう、同程度の広さを計画しております。また、地下排水構造や平面構造については、水はけよく平坦に仕上げ、多目的競技に対応してまいります。そして、運動広場周辺の日陰用樹木の植栽については、現在の樹木をできるだけ移植することで、緑を確保するよう考えております。

**問** 新たな運動広場が完成するまでの代替グラウンドはどうなるのか。

**市長** 新北側運動広場が

完成するまでの代替グラウンドについては、向島運動公園を中心に考えておりまして、今年度、整地と防球ネット等を設置することで、より一層の利便を図ってまいります。また、陸上競技場側の南側運動広場は夜間照明を有しており、広い時間帯での活用ができますので、こちらも是非ご利用いただけたらと考えております。



## 財政全体をみた諮問を給食の民間委託計画中止を

田中 健次（市民クラブ）

**行政改革委員会への諮問**

**問** 市民参画懇話会で議論している市民団体への支援を、なぜ行政改革委員会に諮問するのか。

**市長** 今後の新たな地域コミュニティのあり方やその支援について意見を伺うものです。

**問** 一般会計から下水道会計への繰入金は毎年13億円もあり、財政的に大きな負担ですが、下水道会計は良好に推移しています。なぜ、下水道ではなく、上水道の経営改善について諮問するのか。

**市長** 上水道は市民に密着したライフラインで、収入は水道料金に依存しており、抜本的な経営改善を検討するため諮問。

**民間委託は偽装請負**

**問** 学校給食センターの民間委託は、市が食材を提供、施設の無料貸与で、偽装請負に該当する。どう是正するのか。

**教育次長** 一連の業務を



学校給食センター

民間業者に任せる請負契約と市がやっている一部業務委託は基本的に異なり、偽装請負とは考えていません。

**問** 来年度実施予定の小学校給食の民間委託は、偽装請負であり、計画の中止を。兵庫県、滋賀県の市では労働局と協議し、偽装請負と指摘され、給食の民間委託計画を中止している。

**教育次長** 学校給食センターと同様に、偽装請負とは考えていません。

**その他の質問項目**  
まちの駅に近代建築の復元を

## 政務調査費

地方自治法並びに市議会政務調査費の交付に関する条例に基づき、市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として政務調査費を交付しています。

なお、防府市議会では、平成13年4月1日条例施行後、すべての支出について領収書等の証拠書類を添付しています。

### 交付額

市議会の会派に対して、1人あたり年額25万円を交付しています。

### 使途基準

政務調査費の使途基準に従って使用し、会派の調査研究の経費以外に充ててはなりません。

### 収支報告書

会派の経理責任者は、政務調査費収支報告書に必要な書類を添えて、議長に提出します。提出された収支報告書は、10年間保存されます。

### 閲覧

市内に住所を有する個人等は、議長に対して収支報告書の閲覧を請求することができます。

### 会計帳簿等の整理保管

会派の経理責任者は、政務調査費の会計帳簿を調整するとともに、領収書等の証拠書類を整理し、これらの書類の10年間保管が義務付けられています。

# 水道事業決算特別委員会の報告

年間総有収水量は、約1,270万Kで、前年度と比較すると13万2,615K減少しました。有収水量率は、公道漏水対策の効果等により漏水量が減少し、前年度実績を0.5ポイント上回る、90.4%になっています。

建設改良事業では、管網整備・未給水地区等への送配水管の布設工事、老朽管や石綿セメント管の布設替工事、並びに本橋水源地の流量計の取替校正工事等が実施されました。質疑に対する答弁の主なものは次のとおりです。

・石綿セメント管の撤去作業では健康被害のないように、基準のマスクを装備し、また、アスベストを大気に放出しないように、運搬方法、ルートも制限し、湿潤状態での作業等を行っています。

・水道料金は、少子高齢化や節水機器の普及により、給水収益は、今後、0.5〜0.6%程度減少していくものと予測していますが、経営の効率化や、経費削減に努めることにより、現行の水道料金を可能な限り維持したいと考えています。



配水管の布設工事(推進工法)

有収水量

水道メーターで計量した使用水量

有収水量率

総配水量に対する総有収水量の割合

# 特別委員会の報告

## 交通網整備促進対策特別委員会 (7月20日開催)

主要幹線道路の要望などについて次のとおり協議を行いました。

主要幹線道路要望について

「平成19年度・道路事業費の拡大・確保」について、道路整備を強く推進するために山口県をはじめとする、各関係機関へ道路整備予算の獲得要望を行いました。また、一般国道2号の事業促進について富海地区、大道地区における交通混雑解消や円滑な救急活動を確保するため、市内暫定2車線区間の4車線化・高井交差点の立体化と併せ、国道2号の早期整備について国土交通省への要望活動を行いました。



渋滞する国道2号(富海地区)

幹線道路の事業進捗よく状況について

都市計画道路「環状1号線」、「佐波新田線」、一般県道「大内右田線」、「山口徳山線」、「中関港線」、「佐波川自転車道」について報告がありました。

また、農免農道「牟礼小野線」について事業内容、平成18年度末における事業進捗よく率等について報告を受けました。

環状1号線は、牟礼南小付近までの区間が平成21年度、あるいは、22年度に完成する予定となっております。国道2号との接続を計画していますので、県に対して、真っ直ぐ北に上る路線を要望していくとの説明がありました。

大内右田線は、国道262号と県総合医療センターの間を整備し、平成19年度に完成予定との説明がありました。

県事業の中関港線は、当初案では膨大な工事費がかかることから、現在の大崎橋の近くに新たな橋を架けて、国道2号との接続を図り渋滞を緩和するものです。海上交通について



大内右田線の工事完了区画

三田尻中関港における県の取り組み状況及び防府市よりの要望事項と平成19年度の三田尻中関港における事業について報告を受けました。

「今後の港湾整備について、県が本年8月に長期構想の策定、港湾計画の改訂を進めています。長期構想についての市の考え方を別の機会に示していただきたい。」との要望がありました。

市内バス路線の現状について

市内のバス路線38系統のうち、補助額の伸びの大きい2系統についての乗降調査、及び市内バス利用者のアンケート調査についての分析結果が示され、また、市内の路線バスを中心とした生活交通の維持およびその活性化策を考えるため、市生活交通活性化懇話会が設置されたとの報告を受けました。

「バス路線の活性化について、もう少し踏み込んで、方向性を示して行くべきではないか。」という意見がありました。

# 常任委員会の報告

## 総務委員会

一般会計補正予算の歳入では、好調な企業活動を反映して、法人市民税と固定資産税償却資産を3億3,300万3千円増額しています。また、地方交付税は本年度の普通交付税の交付額が決定し、約5億2千万円減額しており、これに伴い財政調整基金から9千万円繰入れ調整しています。繰越金は、平成18年度決算に伴う繰越額が確定しましたので、588万9千円増額しています。

歳出は、石が口自治会館の新築工事に対する助成金等を増額補正しています。

「新たに自治会館を建てる場合、土地の購入費や建築費等で多大な経費を要するため、助成金の上限(250万円)を引上げていただきたい。」との要望がありました。

競輪事業特別会計では、平成20年1月から12レース制が開始されますが、これに伴う施設改修は全額助成を受け、おり、レース数は増えるものの、開催日数が削減されるため、経費は削減となるとの説明がありました。



## 教育民生委員会

一般会計補正予算では、自治会一斉清掃に伴う土砂等収集運搬委託に要する経費の増額、中学校に生徒指導推進協力員を配置する経費及び、学校支援員を3名増員する経費、並びに小学校と図書館への指定寄附金をそれぞれの図書購入に充てる経費が計上されています。

また、文化福祉会館屋上の天体観測ドームの解体工事が計上されています。天体望遠鏡は、山口県天文協会へ譲渡し、修理及び維持管理をしていただき、将来、市が天体望遠鏡を受け入れる設備を設けた場合に、これを設置し、市民が利用できる機会を提供する覚書を交わしました。今後は、早い時期に、専門家を含めた検討委員会での有効活用方法を協議したいとの説明がありました。

「この天体望遠鏡の反射鏡は田阪鏡たさかきようといつて、世界的に有名であるので、早急に有効活用できるように論議していただきたい。」との要望がありました。



また、同日開催された所管事務調査では、旧図書館を改修して、(仮)防府市文化財資料館を設置する計画の進捗よく状況について説明を受けました。10月に改修工事を着工し、来年3月が開館予定です。

## 経済委員会

一般会計補正予算では、地域水田農業再構築推進事業補助金から水田農業構造改革推進事業補助金への補助金の組み替え及び、農事組合法人切畑ファームへの農機具購入に対する補助金が計上されています。

また、同日に開催された所管事務調査では、商工業の振興・中小企業振興資金貸付金について、にぎわいの創出事業や空き店舗対策等の状況について説明を受けました。その後、天神ピア・銀座商店街・工業団地等の現地視察を行いました。



## 建設委員会

一般会計補正予算では、市内の民間建築物を対象としたアスベスト除去工事に対する補助金や民間の公共的建築物を対象とした耐震診断に対する補助金が計上されています。

公共下水道事業特別会計補正予算では、浄化センター及び雨水排水設備維持管理業務の債務負担行為が計上されています。

### 債務負担行為

歳出予算の金額、継続費・繰越明許費の金額を除き、地方公共団体が将来にわたる債務を負担する行為をいいます。

歳出予算と異なり、後年度に経費支出が予想されます。

債務負担行為は、その行為をすることのできる事項、期限及び限度額を定め、予算の内容として議会の議決が必要となります。



浄化センター

# 議会日誌

## 8月

- 2日 議会運営委員会
- 9日 教育民生委員会(所管事務調査)
  - ・新体育館建設
- 17日 勉強会
  - ・三田尻中関港の長期構想と港湾計画改定
  - ・防府市港湾施設野積場設置及び管理条例の改定等
- 28日 山口県市議会議員研修会(長門市)
- 29日 議会運営委員会勉強会
  - ・補正予算、条例改正等



## 9月

- 3日 9月定例議会開会
  - 全員協議会
  - 会派会長会議
  - 広報編集委員会
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
  - 議会運営委員会
- 14日 水道事業決算特別委員会
- 20日 総務委員会
  - 経済委員会
  - 経済委員会(所管事務調査)
    - ・商工振興対策
- 21日 教育民生委員会
  - 建設委員会
  - 教育民生委員会(所管事務調査)
    - ・文化財保護
- 28日 9月定例議会閉会
  - 議会運営委員会
  - 会派会長会議
  - 広報編集委員会



## 10月

- 2日 中心市街地活性化対策調査特別委員会
  - ・防府駅北土地区画整理事業
  - ・中心市街地の商業活性化
- 10日 広報編集委員会
- 15日 一般・特別会計決算特別委員会(～18日)
- 19日 広報編集委員会
- 22日 交通網整備促進対策特別委員会行政視察(～24日)
  - ・総合交通政策、コミュニティバス試行運行事業(岐阜市)
  - ・コミュニティバス「まめバス」の運行事業(野田市)
- 中心市街地活性化対策調査特別委員会行政視察(～24日)
  - ・「まちの情報館」を中心とした市街地・商店街の活性化(沼津市)
  - ・丸亀町商店街市街地再開発事業(高松市)
- 25日 総務委員会(所管事務調査)
  - ・行財政改革
- 29日 広報編集委員会

## 12月定例議会の予定

- 3日 会議(開会)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 14日 常任委員会(総務委員会、経済委員会)
- 17日 常任委員会(教育民生委員会、建設委員会)
- 21日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は午前10時です。  
 なお、日程は変更になる場合があります。  
 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

## 編集後記 表紙の説明

防府の文化財を取り上げる第4回目は、「松崎天神縁起」です。松崎天神縁起は全6巻からなり、第1巻から第5巻までは、北野天神縁起(京都・北野天満宮)とほぼ同じで、菅原道真の生涯、死後の怨霊の祟り、北野社の創建とその靈験からなります。第6巻は松崎神社(防府天満宮)開設の由来が描かれています。鎌倉時代末期の応長元年(1311年)に作られ、防府天満宮に納められており、国指定重要文化財です。

表紙は、太宰府への左遷が決まり、菅原道真が庭の紅梅と桜に別れを告げる場面、全巻中もっとも華麗と言われ、他の天神縁起絵巻と比べても美しいものです。参考:『防府の文化財』(防府市教育委員会発行)

松崎天神縁起は描かれて700年近く経ち傷みも目立つため、国の補助で、平成18年度から5か年事業で修復をしています。

ところで、この「ほうふ市議会だより」も第7号となり、現在の委員が編集するのも最後となります。議員自身の慣れない編集でしたが、1年間つとめることができました。次号から新体制になりますが、引き続き、よろしく願います。

## 議会広報編集委員会

田中健次 原田洋介  
 松村 学 平田豊民  
 木村一彦 横田和雄  
 (委員長、副委員長)